工 事 概 要

Ⅰ. 工事概要

1. 件　　名　　令和2年度 12号地木材投下泊地M10-30号ドルフィン撤去緊急工事

2. 施 工 場 所　　12号地木材投下泊地ドルフィン(江東区若洲1丁目地先)
15号地木材埠頭(東京都江東区若洲1丁目5)

3. 施 工 期 間　　令和2年 9月 1日 から 令和2年 11月 12日
(12号地木材投下泊地でのドルフィン上部工撤去・15号地木材埠頭でのドルフィン上部工揚陸は、
9月22日 ～ 9月25日 を予定)　(予備日:9月26日～11月30日)
(12号地木材投下泊地での基礎杭撤去・15号地木材埠頭での基礎杭揚陸は、
10月 5日 ～ 11月12日 を予定)　(予備日:9月26日～1月15日)
荒天により変更になる場合があります。

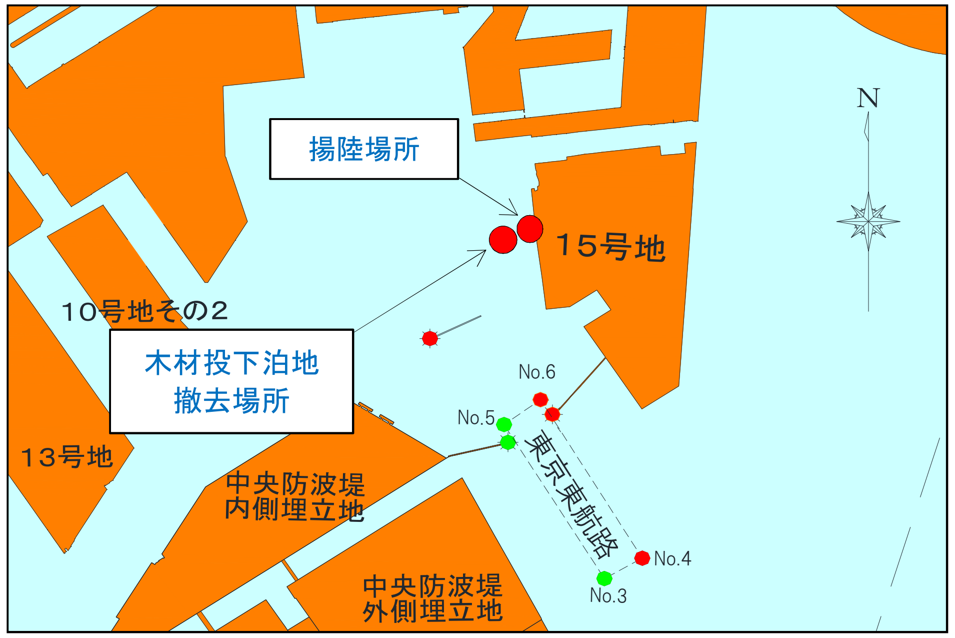
4. 施 工 内 容　　本作業はドルフィン1基が傾斜し危険な状態となっていることから、緊急に撤去するものです。
傾斜したドルフィン上部工を700t吊起重機船で撤去し、15号地木材埠頭に揚陸します。
ドルフィン基礎杭は、A.P.-15.0m(GL-5.0m)で水中切断し、15号地木材埠頭に揚陸します。

5. 安 全 対 策　　作業船団は、夜間係留時は4隅に点滅灯(3秒1閃光黄色)を設置します。
アンカーワイヤー展張時は先端部に灯浮標(3秒1閃光黄色)を設置します。
15号地で夜間停泊する場合は警戒船を1隻配備します。
海上作業中は警戒船を配置し、付近を航行する船舶及び工事用船舶への注意喚起や、
情報提供を行います。　※警戒船には国際VHF無線(16ch)による連絡が可能です。
撤去途中の水中鋼管杭の範囲を明示するため、灯浮標(5A型4秒1閃光黄色) 8個/基を設置します。

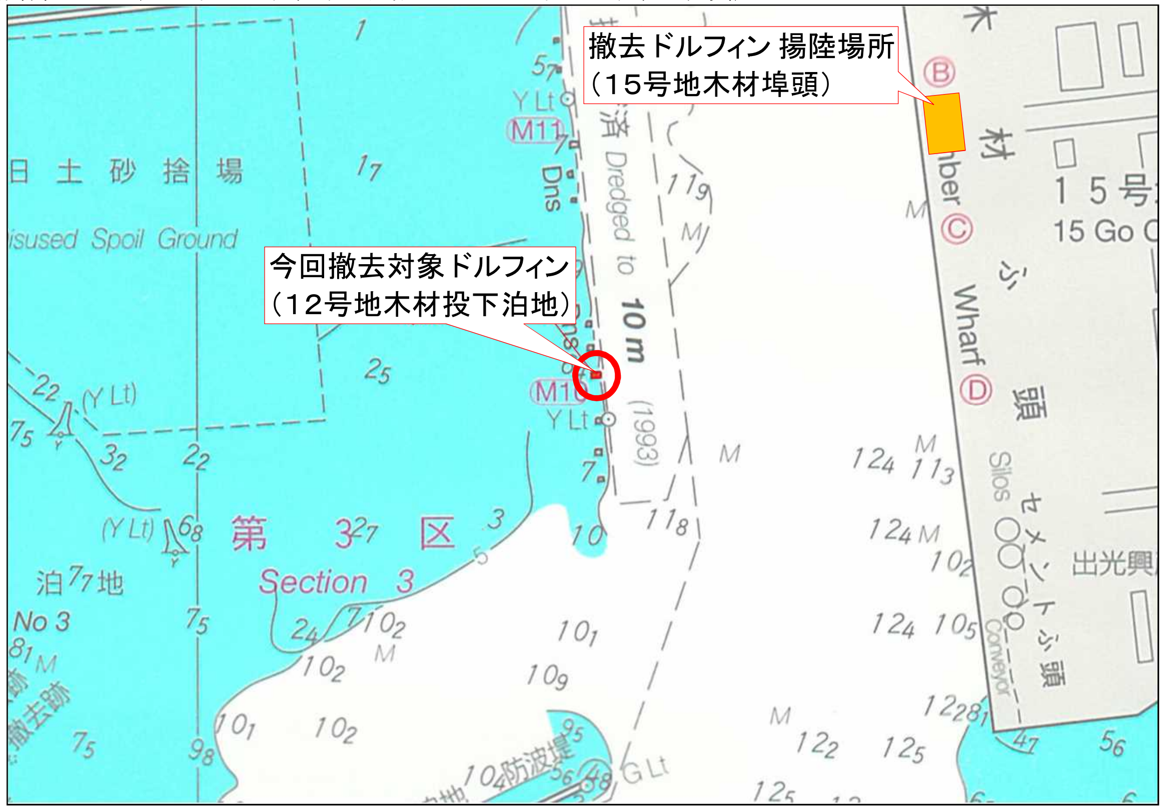
6. 事　業　者　　東京都港湾局　東京港管理事務所　施設補修課
TEL 03-5463-0236　　FAX 03-5463-0243
監督員　：　畦上 聡也 課長 、赤石 直樹 課長代理 、鈴木 楽人 主事

7. 受　注　者　　東亜建設工業株式会社
(連 絡 先)　　〒136-0075　東京都江東区新砂3丁目11番10号
TEL:03-3646-4541
FAX:03-3646-4543
現場代理人 兼 監理技術者：　香田　一哉
携帯電話:　080-1210-5272

Ⅱ. 施工場所案内図（東京港）



Ⅲ. 作業場所案内図（12号地 木材投下泊地・15号地 木材埠頭）



（ドルフィン撤去前 現況写真）

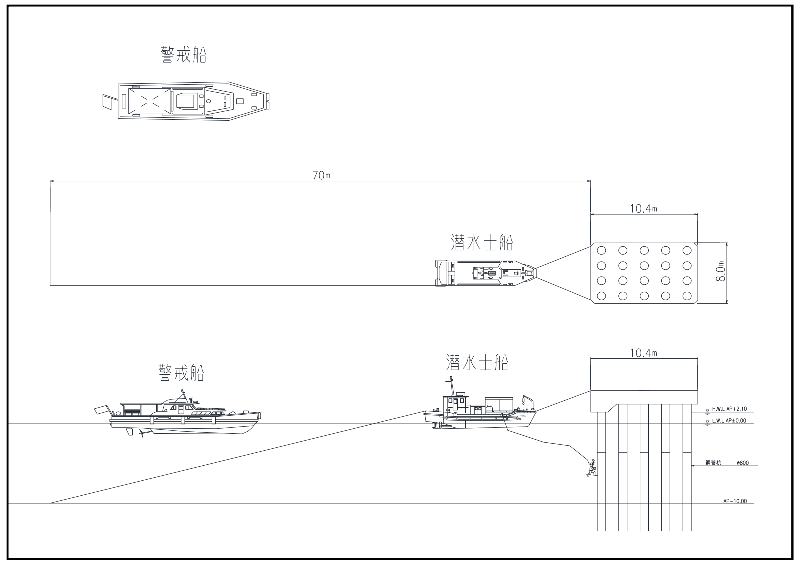
Ⅳ. 工程表

工　種	施工数量	単位	2020年（令和2年）9月	10月	11月	備考（起重機船作業は最速の場合）
現況調査･底質調査(準備工)	1	式				
仮置きケーソン移動工	1	基				
上部工撤去工準備	1	基				起重機船作業:初日 横浜→東航路→12号地(停泊)
基礎杭(鋼管杭)切断工	20	本				起重機船作業:2日目 12号地作業、(停泊)
上部工撤去工	1	基				
灯浮標設置工	8	基				
上部工揚陸工	1	基	揚陸後、木材ふ頭にて解体作業			起重機船作業:3日目 12号地→木材ふ頭作業.(停泊) 起重機船作業:4日目 木材ふ頭→東航路→横浜
基礎杭(鋼管杭)撤去工	20	本				
警戒船配備						原則2隻/日

Ⅴ. 作業状況図

※作業予定日は、作業進捗及び気象・海象条件等により変動します

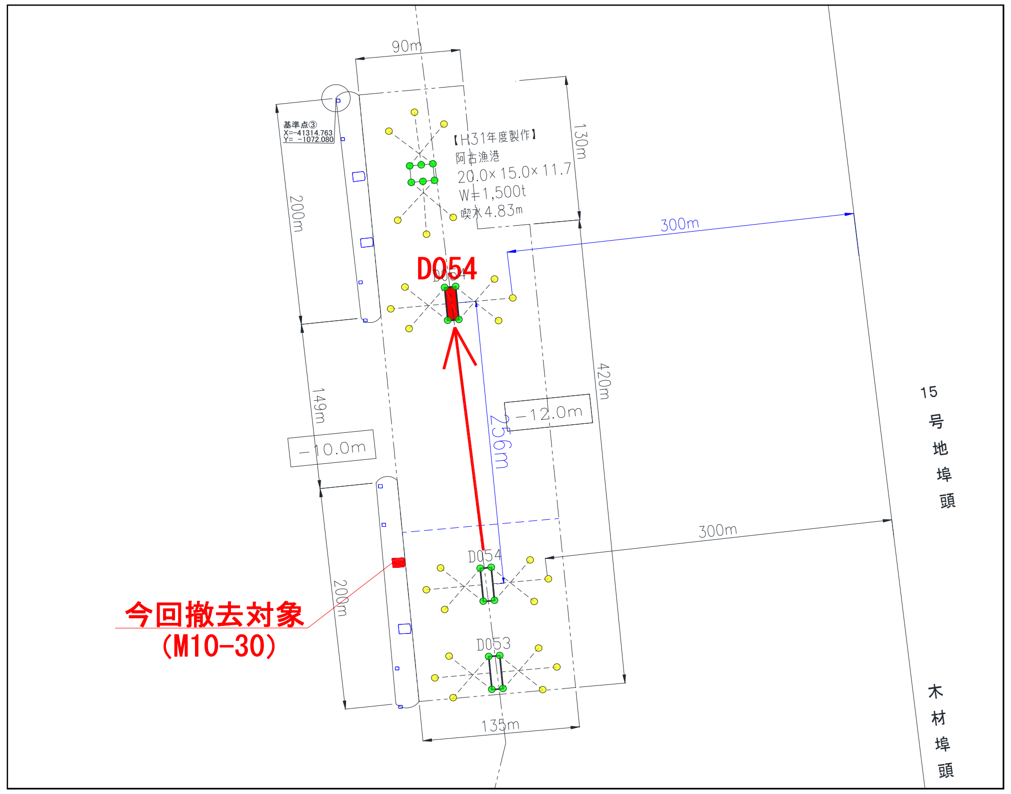
① 現況調査・底質調査
【作業予定日 : 令和2年 9月 1日 ～ 9月 6日】

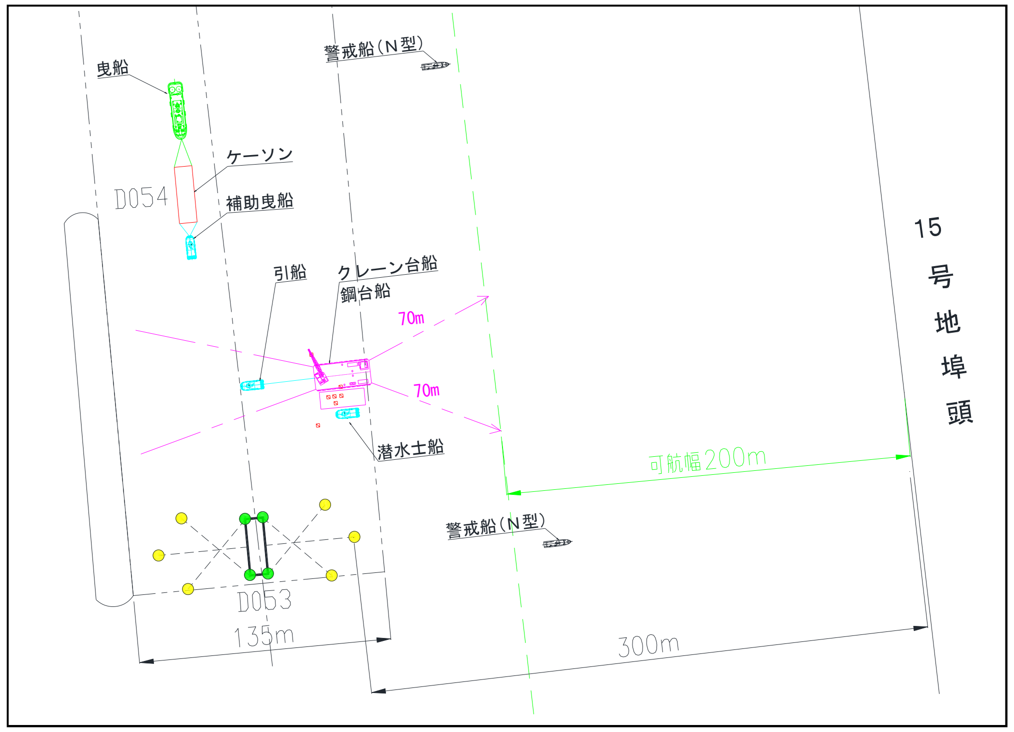


① 事前調査状況図

・潜水士にてドルフィンの水中部調査を行います。
・作業中は警戒船1隻を配備します。
・作業終了後、作業船は基地港に戻ります。

② 仮置きケーソン移動
【作業予定日 : 令和2年 9月14日】

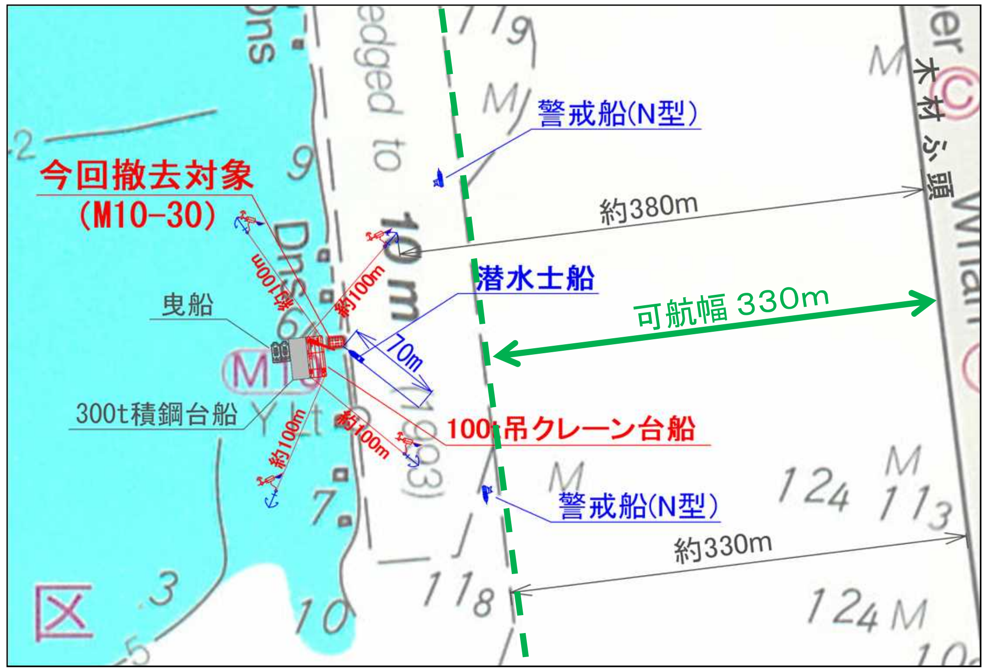




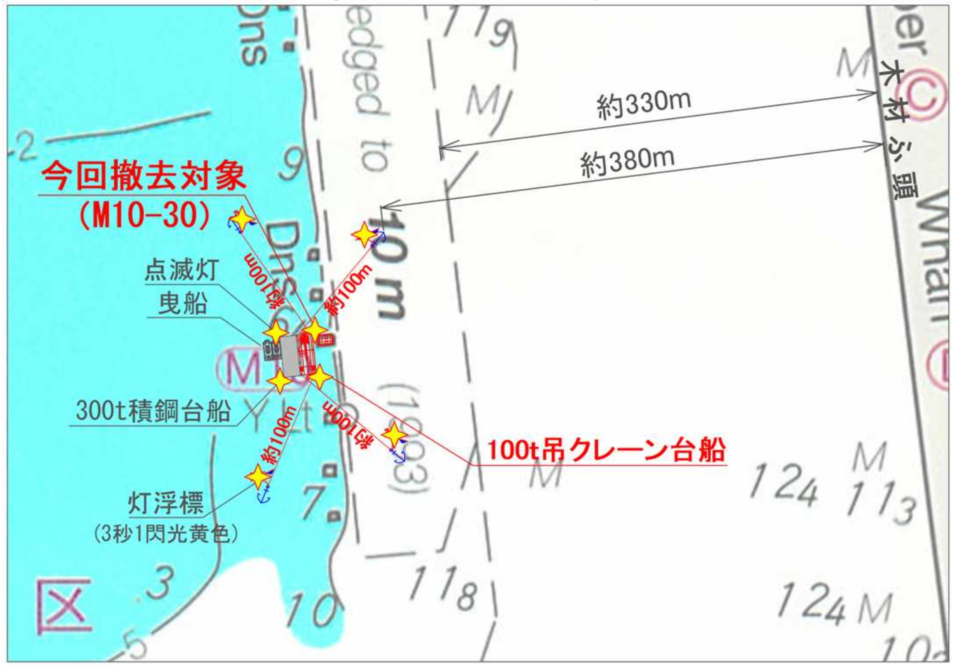
② 仮置きケーソン移動状況図

・新海面用の仮置きケーソン1函を移動します。
・作業は1日間を予定しています。
・作業中は、警戒船を2隻配備します。
・作業中の付近可航幅は200m程度を確保します。

③ 上部工撤去工 準備
【作業予定日 : 令和2年 9月15日～19日】



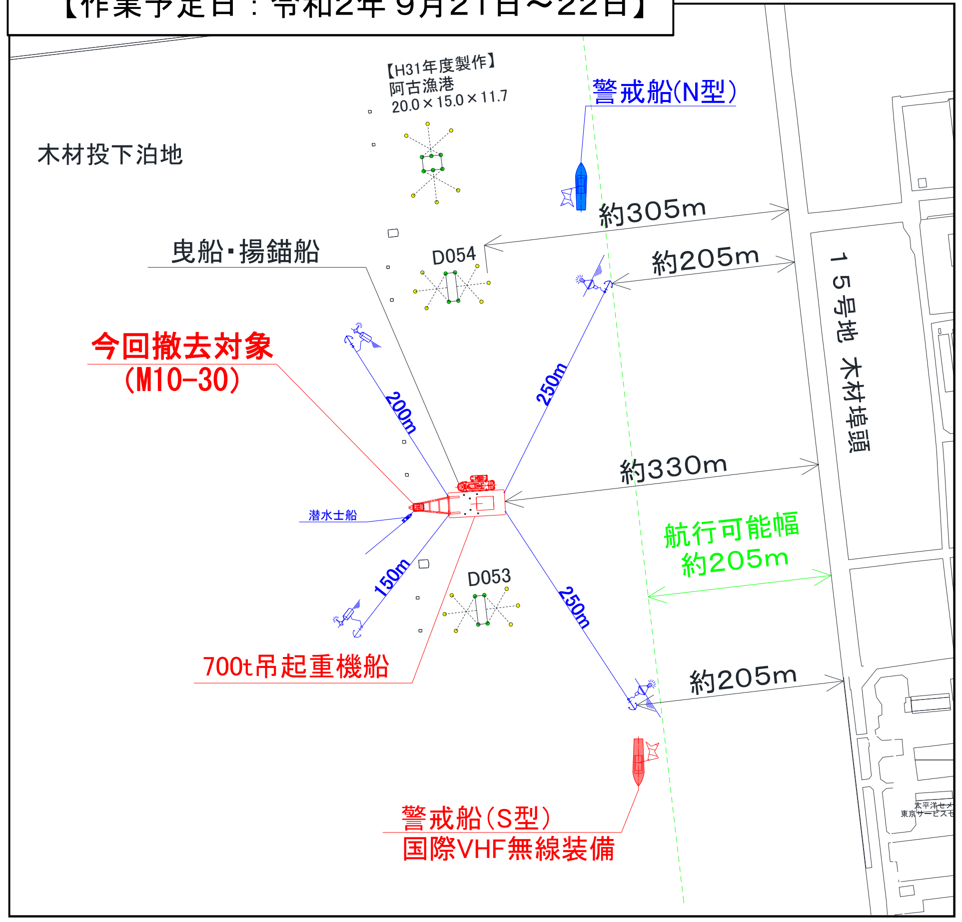
③ 上部工撤去準備状況図



※ クレーン付き台船 夜間停泊状況図

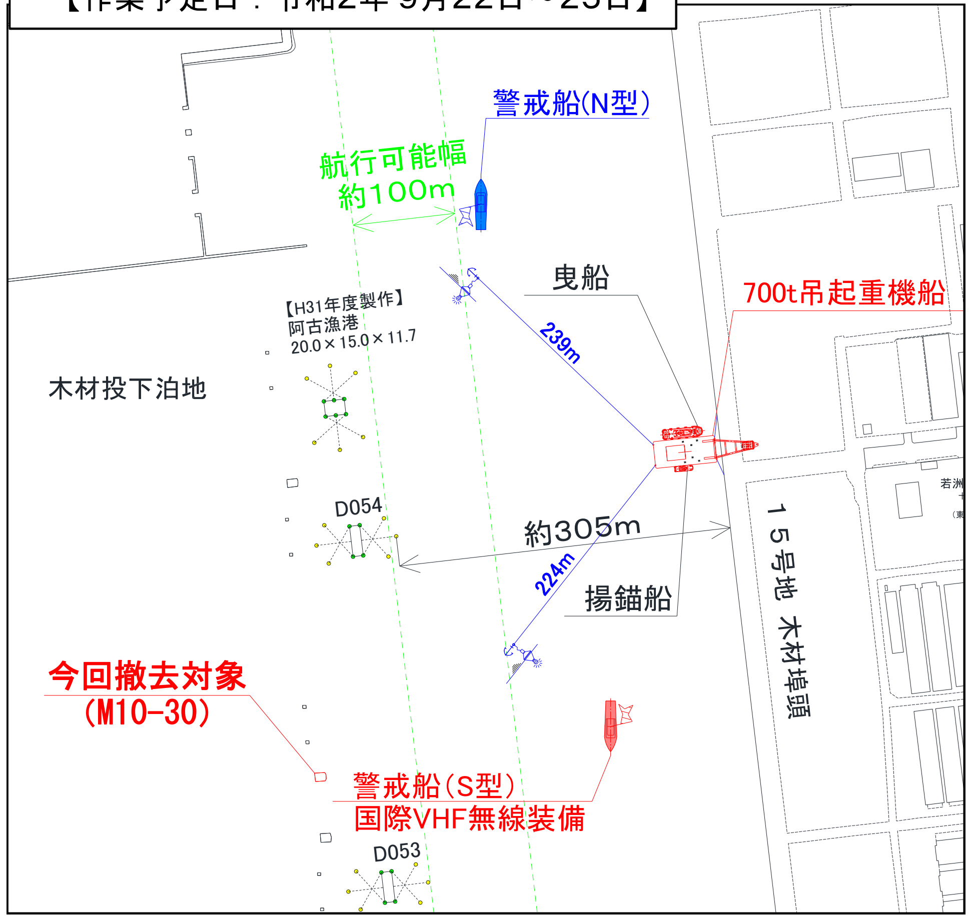
・上部工の撤去準備を事前に行います。
・クレーン付き台船、潜水士船を使用します。
・作業中は、警戒船を2隻配備します。
・作業中の付近可航幅は330m程度を確保します。
・クレーン付き台船が、夜間停泊する場合があります。
（アンカー設置位置に点滅灯を設置します）

④ 上部工撤去
【作業予定日：令和2年 9月21日～22日】



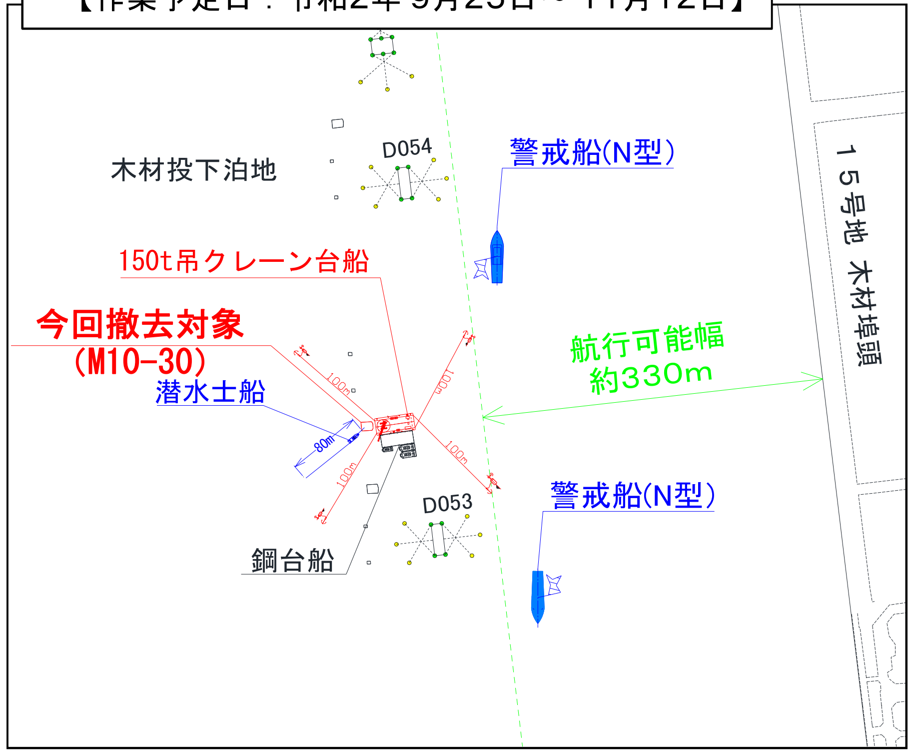
④ 上部工撤去 状況図

⑤ 上部工揚陸
【作業予定日：令和2年 9月22日～25日】

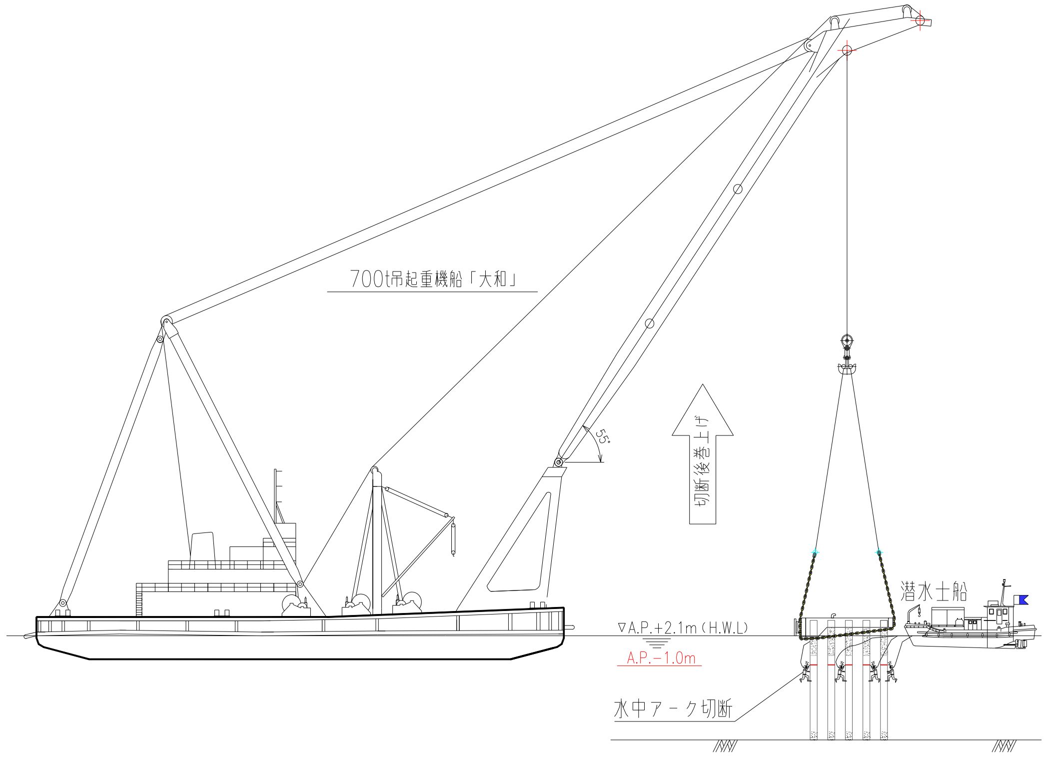


⑤ 上部工揚陸 状況図

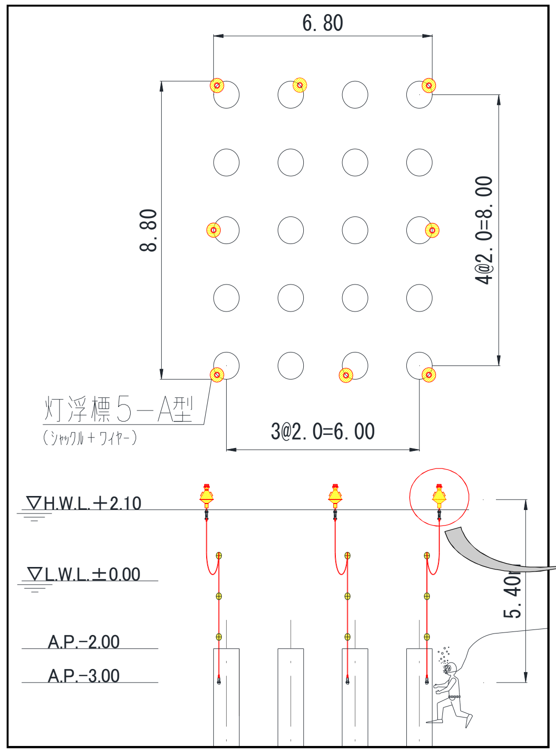
⑥ 鋼管杭 撤去
【作業予定日：令和2年 9月25日～ 11月12日】



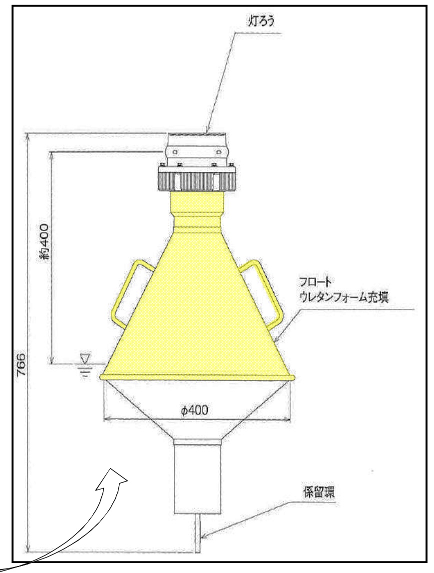
⑥ 鋼管杭撤去 状況図



ドルフィン上部工 撤去状況



鋼管杭 灯浮標設置状況



灯浮標姿図

※ドルフィン上部工
撤去後、速やかに
灯浮標を設置します。

④ 上部工撤去、⑤上部工揚陸
- 起重機船（700t吊）を使用します。
- 鋼管杭の切断は潜水士にて行います。
- 作業は連続4日間を予定しています。
- 作業中は、警戒船を2隻配備します。
- 作業中の付近可航幅は最低100m確保します。
- 作業期間中、起重機船は夜間停泊します。
- 水中の鋼管杭には灯浮標を設置します。

⑥ 鋼管杭撤去
- 水中部の鋼管杭を撤去します。
- クレーン付き台船、潜水士船を使用します。
- 作業は2週間程度予定しています。
- 作業期間中は警戒船を2隻配備します。
- 作業中の付近可航幅は330m程度確保します。
- クレーン付き台船は夜間停泊します。